

全自交石川ハイタク連合会第23回定期大会 大交日の出タクシー労組に組合旗贈呈

2011年10月20日 新加盟組合した大交日の出タクシー労組へ団結と発展を祈念し、組合旗を贈呈)



全自交石川ハイタク連合会は、10月20日に金沢市で「新たなタクシー事業法で、安全・信頼・安心のハイタク創成につなげよう」をスローガンに第23回定期大会を開きました。

冒頭、中江川委員長は「統一地方選挙では、重要候補を当選させることが出来なかったが、連合石川推薦議員の力を借り、政策・制度の実現に向け取り組みを行なっています。また特措法に基づく減車の実効を迫ってきたが現状では、金沢の減車率は5.8%でしかなく進展が不十分です。しかし、車両が減ったことにより營收が多少だが伸びています。また、全国的にも異常な七重運賃の解消に向け支局、運輸局、県選出の国会議員などに要望してきました。今後も、組合員の生活向上に向け取り組んでまいります」と挨拶しました。

来賓挨拶後、活動報告をして全自交労連の運動方針をもとに、石川ハイタク連合会の方針・予算提案をし、活発な質疑・応答があり、方針が決定しました。さらに、昨年、加盟した「大交日の出タクシー労組」へ、組合員の団結と労働組合の発展を祈念して組合旗を贈呈。新役員を選出後、中江川委員長の音頭で「団結がんばろう」を三唱し大会が終了しました。